神中しーぶん

平成26年
11月10日

神原中
不定期33号

石田氏講演会!!

～インターネットは善か悪か？～

去る十一月七日(金)午後一時四十分より、本校体育館において、全校生徒・保護者を対象に「情報モラルと情報セキュリティ教室」が開催されました。講師として「独立行政法人情報処理推進機構セキュリティセンター」の石田淳一氏を招いての講演でした。「インターネットは善か悪か？」というサブテーマもありました。

小中高生対象に作品募集等も行っており、過去の作品には「家族より画面との時間増えていませんか」という作品を紹介していました。

講演は、三つのことを中心に伝えています。今日の話を聞くことにより次のようなことが期待されます。①「○○○になる可能性が減ります。②人生で△△△△△回数が減ります。③□□を手に入れることが事ができます。

インターネット上で人の悪口を書くことは、犯罪になることを知らないでトラブルになるケースが多くなっている。具体的には、名誉毀損罪や侮辱罪にあたる。訴えられることもある。多くの人がそういうことを知らないで、軽い気持ちでツイッターやライン、インターネット上で書いてしまう。事実と関係なく、冗談半分で「??さんは万引犯だ」などと書いてしまう。自分のノートに書くのとは違う。また、自分が書いたものでなく、ネット上で見つけた内容をコピーしてネット上で再配布することも犯罪になる。

ちょっとむしゃくしゃして「??さん気持ち悪い」など、インターネット上に書き込むと問題になる。ちょっとした事で人生をつまずいたりする事にもなりかねないので気をつけて欲しい。

最近のゲーム機はネットに繋がるものがあり、そのゲーム機を通してネット上に、軽い気持ちで「明日、東京の品川行きのバスをジャックする」と書き込んだために、中学三年生が補導された事例を紹介しています。犯行予告と見なされ、家を特定されたとのこと。インターネットは世界中の誰もが見る事のできる「公共の場」であるということです。多数の人が行き交う都会の交差点で、自分の名前や住所とともに、自分の考えを宣言しているようなものである。ネット上で書き込んだり発言する事には、大きな責任が伴うことを知って欲しい。

GPS機能付きのスマホで写真を取って相手に送信する事の危険性について話していました。分からずに使うと大変な事になる。写真データから4、撮影した場所の特定ができるとの事です。自宅で取った写真には、自宅の住所データがついている。それが場合によってはストーカー行為にもつながる。写真の撮影時にはGPS機能をオフにした方が良い。

ワンクリック詐欺について、画面に請求画面が出てくるというような日常的に起こりそうな手口を紹介。完全無視することが良い。相手にしない事です。

講演を聴いて、生徒を代表して生徒会事務局の島袋希恵さんが「今日の講演で、インターネットはとても便利ですが、少しでも使い方を間違ってしまうと、とても危険なことになってしまうことが分かりました。また、インターネットで書き込みをすることは、とても大変な事だとも思いました。インターネットの危険性を訴える石田さんの思いが伝わってきました。インターネットの使い方には気をつけたいと思います。今日は本当にありがとうございました。」と述べていました。

最後に校長先生から「生徒の皆さんが今日の話をしっかり学んでくれたらいいなと思います。インターネットを使っていると気づかないうちに犯罪者になる可能性があるという事です。訴えられることになると多額の賠償金を払うことにもなる。使い方によっては、自分の人生を切り開いたり、名誉を得ることもできる事を学びました。」と述べていました。

希恵さんのお礼 →

無残な冷水器!!

ーみんなで考えようー

４階の一学年向けに設置された冷水器の前面が、無残な状態で見つかりました。

以前から，蹴飛ばした後があったのですが、今回それがひどくなり完全に下部の固定部分がはがれた状態でした。

水の出が悪いとか、冷たくないからと、蹴飛ばしても良くはなりません。壊れてしまったら、みんなが迷惑します。簡単に新品が準備できるわけではありません。一台設置するのに、15万円ぐらい費用がかかります。古いものでも大切に使えば長持ちします。公共物を大切にする心を持ちたいものです。

※文中の解答
①○○○は犯罪者
②△△△△△はだまされる③□□は名誉

道徳公開授業!!

講演会の後、全学級において、「いじめ防止旬間」の一つの取組として道徳の公開授業を実施しました。

多くの学級が、「いじめノックアウト」の映像を活用し、いじりといじめの違いや許されるいじりはあるのか？など、グループでの話し合い等も交えながら進めていました。学級によっては、学級でのアンケートを活用しながら「いじめ」について、みんなで考えていました。

いじめは絶対に許さない！という先生方の強い気持ちで臨んでいます。学校としても、最大限の努力をしていこうと共通理解をしました。